



ぶどうの枝

2017年
夏号

天が地よりも高いように… (4)

千葉キリスト教会 牧師 磯部 豊喜

私どもの教団では、牧師には3段階のステップがあります。第一段階はインターン牧師、第二段階は承認牧師、そして第三段階は信任牧師です。私がインターン牧師を終え、第二段階の承認牧師として大岡山教会に派遣されたのは1983年8月のことでした。大岡山には7年半ほど任につきましたが、転勤のあるセブンスデー・アドベンチスト教団の牧師にとっては比較的長いほうだと思います。着任時の私の年齢は29歳。最初の安息日礼拝（土曜日）に出席した時の印象は、白波の教会。会堂に入って私の目に飛び込んだのは、高齢者の白髪が印象的でした。それもそのはず、私共夫婦よりも若い教会員は1名しかいなかったのですから。ですが、私どもが若かったのか、やがて青年が10名前後集まるようになりました。

この7年半の間は、宣教、宣教に明け暮れましたが、大岡山教会では家庭集会在が特徴的な教会でした。5～6か所で毎週、家庭集會を持ちました。求道者（聖書を学ばれる初心者）の方々が各家庭に「所狭し」と集まっていました。家庭集會は毎週が基本です。人は聖書に触れて変えられていきます。大岡山では聖歌隊のなかった教会に聖歌隊が誕生したり、青年会が組織されたりもあって70歳近かった教会の平均年齢が多少若返ったのではないかと思います。ですが人の集まるどころ、クリスチャンの世界とはいえトラブルが全くなかったかと言えばそうではありません。牧師として胃の痛くなる経験を幾度か経験しました。詳細

は書けませんが、5年ほど経ったある日に、私はある方と誤解から生じたトラブルのために「もう耐えられない」という思いになり、当時の教区長に異動願いを提出したことがありました。そうしましたら1か月後にその方と無事に和解に至り、急ぎ異動願いを取り下げるという始末。実に未熟で、弱く脆い牧師でした（今もあまり変わりませんが）。



説教をされる磯部牧師

そんなポンコツ牧師ですが、大岡山教会では、礼拝出席者は年平均55名から70名以上になりました。キリストの約束に「わたしの力は弱いところに完全にあらわれる」（Ⅱコリント12:9）とありますが、まさにその通りです。これは、主イエス様の哀れみだと今も信じています。何よりも牧師にとって、教会に仲間が増えるのはとてもうれしいことなのです。

「わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い」（イザヤ書55:8, 9節）

「闇を迫りやる力（その3）」

2016年11月5日千葉キリスト教会講演会『闇から光へ』から

千葉キリスト教会 牧師 磯部 豊喜

「闇を迫りやる力」の三回目（最終話）です。ここで私、「磯部豊喜と聖書」の出会いについての小さな証しをしたいと思えます。私は、死刑囚から牧師になった新垣さんのような、またこの忠さんのようなドラマチックな体験の持ち主ではありません。が、この私も聖書に導かれたお陰で現在、牧師としての働きをさせていただいています。

私の名は磯部豊喜という名前ですが、これは生まれた時の名前ではありません。「泉豊喜」が私の生まれた時の名でした。私の戸籍謄本には、「山口県下関市大字園田町27番地11 父は泉 守、母は泉トシ子」とある。「続柄二男」。その私がなぜ、泉豊喜から磯部豊喜になったのか。私は6歳の時に磯部家に養子縁組となったのです。そこに悲しい、恠しい物語があります。

ところでこの磯部豊喜はなかなか覚えられにくい名前。私の所属するSDA教団も間違えてくださった。磯部豊喜⇒磯部豊吉。さて、私の生みの親は泉守さん。今は亡き実父であるが、私にとってやさしい父だった。私を可愛がっていてくれるという記憶は残っています。ただこの人、今思うと遊び人。兄と一緒に父を探しに行くところはといえば、パチンコ屋でした。

磯部の家に来てから、ある日、レコードで軍艦マーチを聴きました。私は思わず「あっ、この曲知っている。ボートレースの歌」と答えてしまいました。磯部の父はこれを聞いて苦笑いをしました。泉守さんが子供の私をボートレースに連れていったことが分かったからです。私の実父

は、ギャンブル狂いだったのです。おそらくそのためでしょう。家庭の経済が回らなくなり、私には当時、二人の姉と一人の兄がいましたが、父の経済を立て直すまで、子供全員があちらこちらの親戚のお世話になることになります。

しばらくして実父は、わたしを迎えに来ましたが、私はすぐに帰るとは言いませんでした。なぜか？それは磯部の家には美味しい食べ物や飲み物があったからです。しかし泉の家に戻るとまたひどい生活が待っている、幼な心にそう思いました。それで「帰りたくない」と言ってしまいました。この一言が、決め手となり当時、磯部の家には子供がなかったことと（その後、妹が生まれたが…）、泉家にとって食い口が一つ減るということで養子縁組が成立したのです。しかし私自身は、本当は磯部家の子になると表明したのでは実はなかったのです。泉家には大好きな兄がいました。この兄と離れるのは忍びないことです。しかし私の「帰りたくない」のひとことが、私自身のその後の運命を定めたのでした。

3 ページに続く



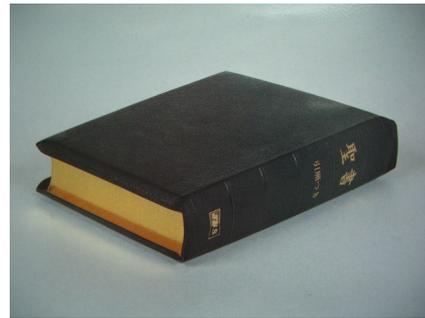
育ての父となった磯部の父の特徴は、私の実父とはまったく違い堅気の人、真面目に働く人です。また勉強家です。また母は実父の妹ゆえ本来ならば叔母に当たる人です。この母もまじめでした。

私は青年になり、この真面目な育ての両親を多少尊敬していたものの、片や煙たく思うようにもなっていました。それで早く、独り立ちすることを考えました。高校を卒業して夜学に通い、昼間は就職して働く・・・そうすれば、胸を張って独り立ちができると考えました。ところが、真面目な両親のかせ枷を解かれた私は、知らぬうちに実父（泉 守）が好んでいた世界（ギャンブル）に私も足を踏み入れて行ったのです。大学生活に慣れてくるにつれ、会社を終えた私は大学を時々サボっては、パチンコ街に入り浸りました。

また土日には、錦糸町の馬券売り場に並び一攫千金を求めることが私のスケジュールの一つになりました。競馬との付き合いは、会社の先輩が、「馬券の買い方を教えよう」との一言で、遊び心で一枚だけ買ったのです。連勝複式「2-6」。この数字今でも忘れません。これが馬券とのお付き合いの始となったというわけです。その頃のわたしの人生にピッタリの歌があります。

植木等の「スーダラ節」の2番の歌詞。「ねらった大穴見事に外れ、頭かっときて、最終レース、もらったボーナスア、すっからかんのからから、馬で金儲けしたやつはないよ、わかっちゃいるけど、やめられね～、あほれ、すいすいす～だらった、すらすらすいすいすい♪」。

ところで実は、この頃、奇遇にも私と聖書の出会いは、すでに起きていました。それは私の高校生の頃ですが磯



部の母が、教会に通い始めていたのです。そのような中、会社への入社試験に

こんな質問が出ました。「あなたはもし、一生の間に一冊しか本を読めないとしたらどんな本を読みますか？」当時、学生運動などがあったので、このような思想を確認するための質問だったのかも知れません。

ただ私はこの質問に答えを書くのを躊躇しました。というのは浮かんでくる本といえば、「少年マガジン」「少年サンデー」・・・などの漫画本ばかり！当時の私は恥ずかしいことに、愛読家ではありません。

しかし何か書かねばならない。そこで考えに考えたあげく、意を決してこの二文字を書きました。「聖書」と書きました。母が真面目に読んでいる本なので、これならいいだろうという程度でした。

4 ページに続く



ですが、こうして書かせてもらったにもかかわらず、この聖書に対して、私はしばらくの間、ひどい仕打ちをしました。社会人になるとき、母は私に黒表紙に赤い色のついた聖書を「豊喜、これを持って行きなさい」とプレゼントしてくれました。しかし私は、その聖書を開くでもなく、持参したスチール本棚の一番の一番隅に置いたのだけは覚えています。まさにホコリ高き聖書。

もらった聖書は、私の部屋で長い間、眠ることになります。私がこの聖書のとりこになるまで、まだ数年ほど時が必要でした。この続きは午後の講演会②「輝いて生きる力」において、お話したいと思います。

ただ、現在、私は今はっきりとこう語ることが出来ます。私にとって「聖書は、神様の愛の言葉であり！私の人生の闇を追い払ってくれた、人生の宝の書物である」ということです。私は元ギャンブル狂、自己中心の塊、そして短気！そんな私を聖書は牧師にまで導いてくれた本です！

皆さん、今日の話、ご理解いただけただでしょうか。人生にはいろいろなことがあります。悲しいこと、つらいことが人生にはいっぱいある。また愛する者との悲しい別れもあります。

しかし「それでも聖書を書かれた本当の著者である愛の神様を見上げるとき、人知を超えた平安」が私どもの心に宿ります。

では話のしめくりに聖書の言葉を今一つ、紹介しましょう。

「闇の中を歩む民は、大いなる光を見／死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。」（イザヤ9：1）

午後の講演会②「輝いて生きる力」では、この聖書が記す主人公（イエス様）の話をしたいと思います。実は、このお方こ

そ「輝いて生きる力」をくださるお方なのです。この聖書の中心なるお方についてお話をしたいと思います。

講演会②「輝いて生きる力」も同様に、次号より数回にわたって記載させていただきます。

今回掲載の記事は、2016年11月5日（土）千葉キリスト教会講演会『闇から光へ』にて講演された演題「闇を追いやる力」の（その3）です。

（その1）は「ぶどうの枝冬号（第5号）」に、（その2）は「ぶどうの枝春号（第6号）」に掲載いたしました。

また、『闇から光へ』にて講演された同日午後の演題「輝いて生きる力」は「ぶどうの枝秋号（第8号）」より、数回にわたり掲載させていただきます。

「信仰の種蒔き」をして下さった方々に感謝です

千葉キリスト教会 木澤 アケミ

今日の証しは、1年6カ月位前に病気で亡くなられた吉田広子さんについて、その信仰の深さ、また信仰の種をまかれた事が、実を結んだことの感謝についてお話します。また、これからも彼女の信仰の種によって救われる人が沢山いると思います、そのことについてお話ししたいと思ひます。

私の主人が亡くなってからもう2年3カ月になります。月日が経つ毎に主人の物を整理しながら涙を流さない日は有りません。でも信仰を持っているという事が本当に心の助けになったと言う事は沢山有ります。家族の信仰を常に祈って生活しております。

その祈りの種を蒔いて下さったのがシャロンの会を開き、吉田さんのお家で一カ月に一回持ち寄り弁当を持って、讃美歌を歌ったり信仰の交わりによって癒された10年間でした。

主人が教会に通う原点は、教会の講演会やクリスマス会、コワイヤーにも実は3回位参加したんです。昔、メサイヤを歌っていたことが有りますので、これが良かったのだと思います。それがコワイヤーに来るようになってから少しして舌の癌が見つかりまして手術をしました。手術をしましたら、やはり声が出なくなり、せっかくコワイヤーで頑張ろうと思っているのに教会に来れなくなってしまいました。そんな折、教会の敬老会の時にエレクトーンを習っている家の主人を「どうぞ、その敬老会に発表して下さい」と吉田さんに頼まれました。それでこの教会堂で2曲エレクトーンを弾かせて頂き、また、ついでに主人の姉の三木とき子姉がピアノ演奏を2曲弾かせて頂きました。その姉はシャロンの会に3

回位出席させて頂きました。三木とき子姉は君津の老人ホームに入っておりますが、その老人ホームに広子さんのご家族、ご主人と翔ちゃんがライヤーを持って訪ねて下さいました。本当に種蒔きと言っても心から信仰を持たせるようにとても優しく、主人や三木とき子姉に接して下さいました。その姉が昨年7月10日に磯部牧師、砂長谷さん、平尾ミセスと息子と共に訪問して下さい、信仰のバプテスマを受けることになったのは、一重に広子さんの種蒔きの結果だと思ひます。

本当にどんな財産より何より、主人ととき子姉が信仰を持たせて頂いたことを心から感謝しております。広子さんが生きていたら有難うございましたと言いたかったのですが、亡くなってしまいました。広子さんには翔ちゃんと言う宝物が残っておりますが、私で出来ることならば信仰のお母さんだと思ひて、何でも相談して欲しいし、幸せになって欲しいと感じております。

6 ページに続く



百日草

主人は平成24年12月25日に亡くなったのですが、26日にこの教会で告別式を行いました。その時に広子さんが伴奏をして下さいまして、シャロンの方達が讃美歌を歌って下さいました。その讃美歌、森田先生のお祈り、それから砂長谷さんの弔辞の言葉の一つ一つが本当に身に沁みて、出席しました息子夫婦、息子の親戚の方が「何て素晴らしいお葬式だろう」と感激して居りました。今年最初の礼拝の時に「お母さん僕は今、仕事の関係で直ぐには来られません、信仰を持ってこのキリスト教を信じることを続けます。これからも皆さんによりしくお伝え下さい」と言う事です。本当に種蒔きをして下さった方がいないと、こう言う事にはならないと思います。広子さんが亡くなる時は、事前に病院に行き抱きしめて感謝したかったのですが、それが出来ないのが凄く残念でした。

2月に入りまして悲しいことですが、お友達の小川節子さんが亡くなりました。小川節子さんとは1月31日に我家に一泊しまして2月1日と2日と館山の温泉に行っただけです。お疲れになるからと言うので、帰って来てからももう一泊我家に泊まっていた色々お話をしましたが、とても節子さんはお子さんにも恵まれ、お孫さんにも恵まれ、お孫さんも結婚してひ孫さんにも恵まれ、とても幸せですと言う話をして喜んで帰られたんです。それから2週間位して、本当にびっくりしたのですが教会に来ている時に動脈瘤かい離と言うのでしょうか、突然、夜寝ているうちに亡くなったそうです。だから苦しまないでお亡くなりになったと思うのですが、最後に彼女に会えて本当に幸せな結婚生活だったと言うのをお聞きして、わざわざ会いに来てくださったんだと思うと悲しいですけれども嬉しかったです。

それともう一つ私が信仰を持ってもう45年位になりますが、その最初の種蒔きをし

て下さった今 米子さんが2月28日に亡くなりました。彼女は癌でした。胆管癌だったのですが、もう駄目だという事が分かっていて10日位前に私に電話をくれました。その時に私は、家の子供達それと主人、お姉さんが信仰を持って本当に有難うと、種蒔きをして下さらなかつたらこう言う事にはならなかったのですよと言うと本当に嬉しいと喜んで下さいました。

最近私は心臓が悪いものですから、こう言う事を考えました。いつ、どこで、亡くなるか分かりません。終活と言うのでしょうか最近テレビでも言われていますが、終活しておくことがとても大切だと思いました。我が家の貯金の事とか、保険の事とか、私の年金の事とか我が家の土地の事、最後のお葬式の仕方まで、子供たちに伝えました。自分が健康の時に用意しておくもの、に、「尊厳死宣言書」の書類に記名捺印することが大切だと思います。

最後に、人間の最も美しい心の一つは、感謝する心です。そして感謝する人は、その人自身も幸福なのです。感謝する心は、あなた自身を豊かにし喜びを与えるのです。

2017年3月4日（土）の
「証しと賛美の集い」における
「証し」より
掲載させていただきました。

私の心の中にイエス・キリストの十字架の焼き印が押された

SDA三育学院キリスト教会 伊達 信昭

懐かしい、実に懐かしい方々と40年振りでお会いすることができました。本当に不思議な感じがします。あの頃は、まだ私は紅顔の美青年で御座いましたが、月日は非情なもので古狸になってしまいました。そして私は今紹介されたように三育学院を出て自然食の行商をずっと40年やりながら、それから聖書研究も自給伝道でやっていました。私は給料が出ませんから一所懸命働かないといけない。今日は千葉、明日は船橋・市川、その次は成田・佐倉、その次の日は木更津、その次の日は姉ヶ崎・五井、その次の日は四街道と毎日毎日40年間の内に地球を30周以上回りました。真夏はアスファルトが52度になるんですね。若い頃はそれでも平気でしたが、10年位前からは夏になると熱中症になって、米粒が一夏に一粒も入らない、そう言う時はどうしたかと言うと安い果物を大量に買って爆食いする、あとは桃の缶詰とかパインの缶詰とか100円で有りますね、あれを毎日毎日食べる。そして真夏の暑い時は、一日最高20本のジュースを飲む、これを7、8年やったら糖尿になってしまったのです。でも神様が熱中症で一発で死ぬか、糖尿でじわじわ逝くかどちらかを選べと言われたら、私は今となってはこっちが良かったのかなと、言うのはこういう証しが出るから、そして眼が悪くなった、それで眼医者に行ったら、これは糖尿から来ているどんどん悪くなる、4年前ですよ。どんどん悪くなるから帝京大学病院に行って、そこから治せ。そして帝京のお医者さん最初にかかった眼科医は、これは治らないと、未だ且つて治った人は一人もいないと、吐き捨てるように言われました。

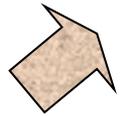
そこで僕は、私が聖書研究をしている奥さん方の中に賢い女性がいて、その娘さん

が広島大学の医学部の博士でアメリカに行っているいろいろな教えている訳ですね。ジャンルは違いましたが、私はこう言う病名だけれども、今後どうなるかをお母さんに聞いてもらいました。そうしたら返事が、極めて危険で失明の可能性が高い、「あれ、私は盲になるんだな」と思ったんです。

そこでNHKのラジオの第二放送の日曜日夜7時から盲人の時間と言うのが御座います。これを半年間聴いたんです。しかしですね、救いは有りませんでした。私と同じ糖尿から盲になった人が自殺したんです。ある神父様も盲になって、その方は詩心が有ったので詩人になった、私は詩心がゼロだし、かといって自殺をする訳にもいかないし、どうしようかと思いました。

そうか僕は50年も60年も聖書を学んで来たし、また偉そうに教えても来たから、こう言う時にこそ御言葉に頼ろうと思って、朝2時から起きて毎朝毎朝、神に心の中で叫びながら聖書を紐解きました。いくつか励まされました。

8ページに続く



百日草

先ず、第一に、両眼を抉（えぐ）られたサムソン、あの心境がよくよく分かりました。「俺もこうなるのかな」と。その次はパウロも目が悪かった。他人事ではなかった、私はパウロに親近感を覚えました。パウロは3年間アラビアで沈思黙考した。「俺もそうしよう」と思いまして最終的に導かれたのが、列王記上17章エリアでした。飢饉の時エリアはケリト川の畔に住んでカラスが彼を養うんです。更に飢饉は激しくなって、今度は異邦人のやもめサレプタのやもめに養われ、そこでも更に追い詰められ、やもめの一人息子が突然亡くなったのです。するとやもめは手のひらを返してエリアを毒つく訳です。「あんたが来たからこうなったんだ」と。エリアはたまりかねて、その子を抱いて二階の部屋に入り、その死んだ子の上に三度身を伏せてキリストに叫んだのです。キリストはその叫びを聞いて、その魂を生き返したのです。

人間レベルの答えと言うのは答えにならないんです。もめるばかり、神に叫ばない限り真の勝利は無いんです。エリアは神に叫んで答えを頂いた。その時言ったやもめの言葉が僕の胸にスーッと入ったんです。「あなたが神の人で有り、あなたの口に有る御言葉が真実である」、それを今知りましたと。ああそうか御言葉の神は絶対の真実なんだ。エリアに真実なら俺にもちょっとは真実だろう。アブラハムに真実ならば浅川さんにも真実だし、モーゼに真実なら金田さんにも真実だし、パウロに真実なら磯部牧師にも真実である。キリストには、否は無いらりしか無い、昔も然りなら今も然りだ。ここに賭けよう。

と言うのは、私の眼はどんどん悪くなって左眼が0.03までは測れたんです。その次一か月後に行ったら測れなかった。網膜が真っ暗でレントゲン写真を撮ると映らない、網膜が死んじゃったんです。そこで一か八か手術台に上りました。ひと筋の祈り

をキリストに賭けて、すると不思議なことが起こったんです。医者が私の左目にぶすつと麻酔注射をしたとたん、キリストが小さく僕の脳裏に現れわたったんです。そして聖書研究を始めたんです。考えても見ませんでした。しかもそれがエステル記、思ってもいませんでした。エステル記の歴史の見解が私は好きですから読んでいましたが、キリストはエステル記の霊的解釈を手術中の1時間半なさったんです。そして、私が分かりましたと心で叫んだ時、医者が手術は上手くいったと言ったのです。同時並行で医者は肉眼を、イエスキリストは魂の眼を手術してくれたのです。

そればかりではないです。一週間入院中、翌日朝2時から、やはりキリストが小さく現れて聖書研究を始めます。それはナオミとルツの聖書研究でした。その翌日はヨセフの物語の私が見落としている所を示してくれたんです。僕の眼から鱗が落ちました。その翌日はモーゼの人生でした。その翌日はダビデでした。その翌日はヨナでした。その翌日はヨブでした。これらは、人は違い問題がそれぞれ違うけれど、一貫していたのは彼らのその問題の背後に十字架のイエスキリストが隠されているという事がハッキリと示されたのです。そればかりじゃないです。私自身のこの眼の問題の背後にキリストの十字架が隠されていることが示されたのです。皆さんの抱えている問題が御座いますね。皆さんの持っているトラブル、実はその背後にキリストの十字架が隠されているという事が示されたのです。そしてそれを発見することが人生の真の勝利者であると示されたのです。それが信仰による義なのです。皆さん大いに悩んで下さい。その悩みの背後に十字架のキリストが隠されているのです。

9 ページに続く



4か月後、今度は右目の手術でした。医者がやはり手術をしている時、今度はキリストの十字架自身が右目に現れ、今も現れています。そして聖句が示された。ガラテヤ書でした。「私はキリストと共に十字架に付けられた。生きるはもはや我に有らず、キリストは生きているのである」と言う聖句が手術中に示されて、私は十字架のキリストを見ながら考えたのです。

そうか今、俺は伊達信昭の自我、この自我が罪の塊（かたまり）なんです。エレミヤ16章に書いて有ります。「罪とは何ぞや、自我だ」と。この自我が手術を通してキリストと共に十字架に着けられている作業をしているんだと言うのが分かったんです。イエス・キリストは私の魂に十字架のキリストの焼き印を押すために、手術と言うとこまで導いたんだと言う事が分かったのです。

私は叫びました。ああ俺の心の中にはイエス・キリストの十字架の焼き印が押された。これは私ばかりではなく、皆様もそうなんです。皆様の持っているトラブルを通して神様はあなたの心に十字架のイエスが焼き印を押そうとしておられるんだ。これが摂理の御手である。どうかパウロと共に私はキリストと共に十字架につけられた。私の魂には十字架のキリストが焼き印を押されていると叫びたいものです。皆様の上にキリストの恵みがあるようお祈り申し上げます。

2017年3月4日（土）の
「証しと賛美の集い」における
「証し」より
掲載させていただきました。



サンセット・バイブル・カフェによるこそ

SDA千葉キリスト教会 渡邊 治子

3月25日（土）夕方5時半、エレベーターの前に軽食が並び、カフェ開店です。この日の裏方はパニックでした。御飯が半生炊き！電気の不調でした。さすがベテラン主婦揃い、どうにか開店できました。

今回のゲストはわが りえ（ステージ・ネーム）さん。宮沢賢治の朗読をされます。りえさんは賢治と同郷の岩手の出身で、賢治を研究し彼の作品を読み聞かせる活動をされています。賢治の作品は独特の世界を持ち、判りにくいところもあるけれど、なぜか心に響き残るものがあります。

朗読会は、賢治の生いたちや風土などが紹介され、ふるさとの言葉で話しますと言って始まりました。

「アメニモ負ケズ カゼニモ負ケズ・・・」すると会堂の空気が変わりました。語られる岩手弁が太く、ずんとお腹にひびきました。会堂に居ながら、今、語ら

れている情景が次々と目に浮かんできました。二つ目の話「注文の多いレストラン」では、山奥にあるレストランに入り、店からの案内通りにドアを順番に開けて進んでいく辺りでは、私もお客の気持ちになってしまいました。店から出される注文に従い、次の部屋に通り抜けていくお客は、最後には・・・自分が料理されちゃうのかも・・・と、ドキドキしながら賢治の世界に溶け込みました。語り口の見事さに拍手でした。これが語り部だと思いました。

私たちも神の御業の素晴らしさを、このように心込めて語り伝えられたら、伝えなくてはと、“伝えること”の難しさと大切さを、改めて感じさせられた夜でした。

毎月第四土曜にカフェは開店します。楽しいですよ。どうぞ皆様お出掛け下さい。



賢治の世界を語る“りえ”さん



ふるさとの言葉でお話をされる“りえ”さん

楽しかった音響の良い教会堂での演奏

—千葉教会サンセット・バイブル・カフェで演奏頂いた「千留花」さんからの記事です—

ギターアンサンブル・千留花 山岸 好子

ボランティア活動を目的に2000年に結成した女性4名のギターアンサンブルです。

仕事、家事等をしながら、老人施設、学校、公民館、病院等でのボランティアコンサートをしています。千葉市及びその近辺を中心に訪問演奏していますが、ご要望に合えばどこまでもと市外、県外へも出かけています。

レパートリーは、幅広い年齢層の方々に聴いていただけるよう、童謡唱歌、懐メロ、クラシック、ポピュラー等ジャンルを問わず。お聴き頂く皆様に合わせたプログラムで、ギターと歌、ハンドベル、鈴など他の楽器とのコラボもお楽しみ頂いています。

2005年（5周年記念）にはCD「リンゴの木の下で」を作成。

アンサンブル名「千留花」(Circa)とは、音楽用語で、およそ、だいたいといった意味。漢字表記は、ギター仲間である、長野県の寺「活禅寺」の館長、無敵様に付けて頂きました。

結成から少しづつ活動も増え、多い年で30件以上のボランティア演奏をお受けして、メンバーのチームワークと、聴いて下さる皆様の励ましに力を得て、走り続けて来ましたが、ここ数年はそれが老親の介護や自身の病、伴侶に突然先立たれたメンバーもありましたが、演奏することにより、私たち自身が癒され元気をもらうことができました。

これからも、ギターの優しい音色を皆様にお届けできることを心から願っています。

2月25日（土）4人のメンバーの方々に素晴らしい演奏を聞かせていただきました。

ドレスとギターの響きがぴったりでした。



4月22日（土）3人のメンバーの方々に、またまた素晴らしい演奏を聞かせていただきました。

春らしいドレスと、春にふさわしいギター曲の響きがピッタリでした。



恵みあふれた春のミニバザー

千葉キリスト教会 コワイヤー 酒井 紀子

2017年4月9日（日）11時より、千葉教会にて春のミニバザーが開催されました。

小雨にもかかわらず、会場は、教会員や近隣の方々でいっぱいになりました。手作りのかわいらしい手芸品、アクセサリー、手染めスカーフ、ハンカチなどは大人気でした。また、新品の飾り物や日用品は価格が安く喜ばれました。手作りケーキ、クッキー、お饅頭、お寿司などは、またたく間に完売しました。

お昼は、全員でおいしいカレーをいただき、楽しい交わりのひと時となりました。

午後1時から教会礼拝堂で、賛美とお話のプログラムがありました。お祈りから始まり、続いてフルート、チェロ、ピアノによる「美しき青きドナウ」が演奏され、会場は楽しいワルツのリズムで満たされました。「アニー・ローリー」「神の子羊」のフルート演奏に続き、ヘブンス・コワイヤーにより、「野のユリ」「Look at the world」が賛美され、力強く、清らかに神様を賛美する歌声は会堂に響き渡りました。

これに続き、松坂孝吉先生の「輝いて生きる」と題する講演がありました。“わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ”（ヨハネ15：5）という聖句に基づいて、神様につながって生きることの大切さ、素晴らしさをわかりやすく、お話ししてくださいました。

会衆一同は、大きな愛に包まれ、心満たされて会場をあとにしました。

【次回コンサートのお知らせ】

7月2日（日）午後2時よりコワイヤー主催によるサマー・コンサートが開催されます。皆様のご来場をお待ちしています。



来場者であふれたバザー会場



講演される松坂孝吉先生

「春の祈禱週」

千葉キリスト教会 信徒伝道会 渡邊邦男

セブンスデー・アドベンチスト千葉キリスト教会では、毎年春と秋に「祈禱週」という催しを行っています。これは、安息日から翌週の安息日までの8日間信徒が集って祈りの会を催すのですが、その祈りの対象はそれぞれ自分の為の祈りではなく、主に自分以外の人の為に祈り合います。

聖書には次のように書かれたところがあります。

<マタイによる福音書18章19, 20節>

また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。

祈禱会が行われるところには、私たちの主、イエス・キリストもそこにおられ、もし、私たちが心を一つにして祈り求めるなら、その願いをかなえてくださる。という、約束を私たちは信じるので、この祈禱会を開いています。

普段は千葉教会では毎週火曜日の午後6時から、また水曜日の朝7時30分から教会で祈禱会を開いていますが、年に二回行われる春と秋の祈禱週では、土曜日の安息日には教会で行い、月曜日から金曜日は信徒のご家庭に集い、祈禱会を催します。

今年の春の祈禱週は、4月22日から29日まで行われました。

教会で開かれる祈禱会は人数が多いですが、各ご家庭での祈禱会は少なめで行われます。それでも、今年は教会での祈禱会が二日間で延べ42名、各ご家庭での祈禱会は6日間で述べ56名の出席を数えました。ご家庭を解放してくださった信徒の方々に感

謝です。

さて、今年の春の祈禱週では、人々が救われることのほかに、病の癒しが祈られていました。高齢化の波が教会にも押し寄せています。そういったことが多くなるのは当然のことなのですが、祈禱会に参加している私たちも同じように高齢化していますから、年々参加人数が減っているのかというところではありません。

祈禱会に積極的に参加される方々は、日ごろから自分のことばかりではなく他人の為に祈りをしている方が多いのです。これは当然と言えば至極当然なのですが、こういう方々は、高齢になっても比較的元気な方々が多く、病があっても不思議と元気なのです。

神様は、「人が一人でいるのはよくない」と最初に造られた人アダムに、その肋骨を取って「イブ」を造られました。これが人類の始まりです。

人は一人では生きにくいし、一人では元気も出ません。

人間は誰もが自分が第一です。しかし、そこに神の住む場所と自分以外の人に関心させる人は神様から祝福されます。

今回の祈禱週には、未信者の人が延べ三名参加されました。その誰もが祈りに参加されたのです。私たちにとってこれは大いなる恵みでした。

これらの方々が、イエス・キリストを知り、キリストを救い主として受け入れる日がそう遠くないと私は信じます。なぜなら、神様は私たちが二人または三人で心を一つにして祈るとき、キリストもそこにおられ、どのような願いもかなえてくださるからです。

6月、7月、8月の行事

◇ サマー・コンサート

☆日時:7月2日(日)午後2時～3時30分

☆場所:千葉キリスト教会 礼拝堂

☆合同コワイヤーの賛美やホルン、チェロ、フルート、オーボエなどの演奏をお楽しみください。

皆様のお越しをお待ちしております。

◇ 夏期聖書学校

☆開催期間(予定):7月22日(土)7月23日(日)の1泊2日

☆会場及び宿泊場所:千葉キリスト教会 集会室(3階)

☆対象:幼児、小学生の皆様のご参加をお待ちしております。

☆内容(予定):聖書を学んだり、工作や遊びで楽しみます。

夜は教室にお泊りです。(※宿泊は保護者同伴でお願いします。)

☆費用(子供・大人:一人)

◆宿泊の場合:1000円

◆土曜日のみ:300円

◆日曜日のみ:500円

◇ 夏祭りサンセット・カフェ

☆日時(予定):7月22日(土) 5時30分～7時30分

☆開催場所:千葉キリスト教会 玄関前広場

☆地域の皆様、夏期聖書学校の参加者の皆様とご家族、シャローム若葉の皆様とご家族、千葉教会員とご家族が一緒に集い、ビンゴや流しそうめんて夏のひと時を楽しみましょう。

毎月の定期集会

◇ 菜食料理講習会

☆日時:毎月、第一月曜日に開催します。午前10時～13時

☆場所:千葉キリスト教会 集会室 ☆参加費:500円 ☆どなたでもいらして下さい。

◇ 聖書セミナー

☆日時:毎月、第二(黙示録)、第四(ダニエル書)水曜日に開催します。午前10時～11時30分

☆場所:千葉キリスト教会集会室 ☆講師:千葉キリスト教会牧師 磯部豊喜

◇ サンセット・バイブル・カフェ

☆日時:毎月第四土曜日の夕べ開店します。午後5時30分～7時30分

☆場所:千葉キリスト教会 集会室

☆心がほっとする聖書の話、素敵な音楽、楽しいおしゃべりなど、癒しの時間を共に過ごすことができると願っています。軽食とお茶を用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

安息日学校(毎週土曜日)

☆賛美礼拝:午前9:15～9:25

☆聖書の学び:午前9:25～10:40

安息日礼拝(毎週土曜日)

☆千葉キリスト教会:午前11:00～12:00

☆シャローム若葉虹の家:午前9:30～10:10

祈祷会

☆毎週、火曜日夕午後6時及び水曜日朝午前7時30分から祈祷会をしております。

【編集後記】「ぶどうの枝」2017年夏号をお届けします。教会の活動を知って頂き、皆様に教会に足を運んで頂けたら幸いです。「ぶどうの枝」について皆様のご感想をお寄せ頂けたら幸いです。

SDA千葉キリスト教会

〒264-0028

千葉市若葉区桜木5丁目15番1号

旧法務局前通り:3、4階 千葉キリスト教会

1、2階 シャローム若葉

電話:043(231)3620

FAX:043(231)1634

Email:sda-chiba@rio.odn.ne.jp

ホームページ:

http://www2.odn.ne.jp/sda-chiba/

★発行責任者:

磯部豊喜 牧師

★スタッフ:

酒井 闔 吉田 敏英

綿引 秀子